

\*2008年12月15日にストックホルムで発表されたプレスリリースの抄訳です。

## エリクソン、 ネットワークサービスの拡大にグリーンパワーを活用

エリクソン (NASDAQ:ERIC) は2013年までに世界で携帯電話使用者が現在の37億人から65億人になり、その成長の90%は人口の半分以上が都市部以外に住む開発途上市場からもたらされると予測しています。信頼できる電力供給網がほとんど無いに等しい農村部にモバイル・ネットワークを構築するためには、まず電力問題を解決しなければなりません。

携帯電話技術は、これまで通信網に接続されていなかった地域において、新たな数十億のユーザに、世界へ繋がる窓口をもたらすこととなります。費用対効果と信頼性のあるエネルギー供給源を持つことが、人口の少ない地域でサービスを提供しようとしている通信事業者の長年の障害となってきました。費用の面から電力供給網の建設が問題になっていただけでなく、地理的、環境的制約のために不可能だったためです。

テレコム技術で既に数十億人に携帯ネットワークを提供しているエリクソンは、この問題に対してエネルギー効率の良い製品とネットワーク・エネルギーの最適化で対応しています。これによって、通信事業者が事業にとって利益となる方法で、新興市場に利用可能で持続性のある通信サービスを開発し提供できるようにしています。

風力発電は電力供給網の枠外にあるモバイル・ネットワークに電力を供給する代替エネルギー源の一例です。エリクソンは2007年、代替エネルギー源として生物体燃料を使用し、2000年にはモロッコの通信事業者のモバイル・ネットワークに太陽光発電で電力を供給する最初のテレコムプレーヤーとなりました。

エリクソンの副社長で無線製品分野の責任者であるウルフ・エバルトソンは「革新の最前線に居ることはエリクソンにとって市場でリーダー的な地位を保つために不可欠です。世界の総人口の半分が使用しているモバイル技術、GSMの標準となっているBlue Toothのような技術を支え、第4世代のモバイル通信開発をリードしている企業に在ることを誇りに思います。しかしモバイル・ネットワークへのエネルギー源にこそ注力しなければなりません。そうすることで大きな都市部に住んでいようがインフラの貧弱な村に住んでいようが、すべての人が通信サービスを受けられるようになるのですから。」と語っています。

一部市場ではディーゼル油価格を含めたエネルギー関連支出はネットワーク運営コストの50%をも占めるため、インフラ設置後の次の段階は費用対効果を考慮した日々の最適な運営ということになります。

エバルトソンは指摘します。「都市部以外に住む数十億の人にモバイル通信を提供する

ために我々が取った方法の一例は、モバイル・ネットワークに電力を供給することです。何回でも再充電のできる潜水艦用蓄電池を併用する独特のハイブリッド・ソリューション、ソリューションによって、1無線局当たり年間約1万リットルのディーゼル油を節約できるのですが、これは40－50%の節約に相当します。ディーゼル油を使用する無線局が数百、数千存在するモバイル・ネットワークで考えれば、大変な量のディーゼル油が節約できるのです。」

モバイル・ネットワークの建設と電力供給のために環境に優しいソリューションを開発することは、これまで通信サービスを受けたことのない数十億の人にサービスを提供する際の要となります。そして環境に優しいソリューションの恩恵は2倍あるといえます。通信事業者が費用対効果のあるモバイル・ネットワークを構築し運営できるだけでなく、モバイル・ネットワークを運営するための化石燃料が少なくて済むために環境にもまた貢献するからです。

(報道関係の方へ)

代替エネルギー源の画像は以下のサイトで入手できます

[http://www.ericsson.com/ericsson/press/photos/alternative\\_energy.shtml](http://www.ericsson.com/ericsson/press/photos/alternative_energy.shtml)

エリクソンの通常のマルチメディアコンテンツは以下のサイトで入手できます

[http://www.ericsson.com/broadcast\\_room](http://www.ericsson.com/broadcast_room)

#### <エリクソンについて>

エリクソンは、通信事業者に向けてテクノロジーおよびサービスを提供している世界有数の企業です。2Gおよび3G移動通信技術におけるマーケット・リーダーとして、通信サービスの提供から1億9,500万人を超える加入者をカバーするネットワークの管理までを行っています。当社のポートフォリオには、移動網および固定網インフラ、ならびに事業者、企業、開発者向けのブロードバンドおよびマルチメディア・ソリューションが含まれており、合弁会社ソニー・エリクソンは、多機能的な携帯電話を一般ユーザーに提供しています。

エリクソンは、革新、技術および持続可能なビジネス・ソリューションを通じて「全世界の人々にコミュニケーションを」というビジョンを掲げ邁進しています。175ヶ国で勤務する約7万人超の従業員は、2007年、279億USドル(1,880 SEK)の収益を創出しました。1876年に設立され、本拠地をスウェーデン ストックホルムにおき、OMX ノルディック取引所、およびNASDAQ に上場しています。

さらに詳しい情報は、エリクソンのホームページをご覧ください。

エリクソン本社(英語) : [http:// www.ericsson.com](http://www.ericsson.com)

日本エリクソン : [http:// www.ericsson.com/jp](http://www.ericsson.com/jp)